

ダイバーシティ促進のためのアンコンシャスバイアス研修

3.8 国際女性デーとちぎの集い

連合栃木女性委員会は、3月6日(土)に『3.8 国際女性デーとちぎの集い』を開催いたしました。国際女性デーとは、国連が定めた女性の権利と国際平和のための記念日です。1904年3月8日にニューヨークで、女性労働者が参政権などを求めたデモを行ったことを起源に制定されました。賃金・労働条件を表す「パン」と女性の尊厳・人権を表す「バラ」をシンボルに、3月8日は、世界中で様々な活動が行われています。



今回行ったとちぎの集いでは、杉本 美晴様(一般社団法人アンコンシャスバイアス研究所理事)に講演をいただきました。



講師・杉本美晴氏

「アンコンシャスバイアス」とは「無意識の偏ったモノの見方」のことで、誰でも持っているものです。過去の経験や見聞に影響を受け、無意識のうちに決めつけや押し付けをしてしまい、知らぬ間に心のあと味を濁している可能性があります。



会場へ次々と質問を投げかける講師

今回は「ひとりひとりがイキイキと活躍する」ためにアンコンシャスバイアスについて学び、自分の中のアンコンシャスバイアスに気づき、「多様性ある職場づくり」を目指すことを目的に学びました。



参加者同士で意見交換

これからの**多様性ある社会**で生きていくために、今回学んだことを意識して生活していこうと思います。「アンコンシャスバイアス」に興味を持った方は、ぜひ一度調べてみてください。

(幹事/川岸芙美佳)



東日本大震災 10年フォトメッセージ

～あの日を忘れない、私たちは仲間です～





駅頭にてアピール

チラシ入りマスク
1,000 枚配布



すべての人たちが
性別に関係なく、
人権が保障され、
平等に安心して働く
ことができる社会を
めざしましょう！！



井田治美委員長



丹和子幹事

連合栃木女性委員会は、**3月5日(金)**に宇都宮駅で行われた街頭宣伝活動に参加し、「3. 8 国際女性デー」のアピールをしました。国際女性デーのきっかけは、劣悪な労働条件・労働環境によって多数の女性労働者が被害にあわれたことでした。

そして今、この**コロナ禍**においても女性労働者が多大な被害を受けていることはご存知でしょうか？

その原因の1つとして、女性労働者の非正規雇用の割合が高く、経済状況の悪化で真っ先に雇い止めになってしまう、雇用の不安定さがあります。また先行きの不安の為か、DV被害や自殺者の件数も急増しているそうです。法律上男女平等をうたってはいますが、まだまだ**弱者としての女性像**が拭えないのが日本の現状と言えるでしょう。

皆さんもこの機会に自分や周りの女性の働き方について、ぜひ考えてみてください。
(副委員長/青柳千穂)



小池貴美江幹事



青柳千穂副委員長



女性委員会が拡大研修会を開催します！

働く女性のストレス対処

～メンタル不調とその対策～

(講師:井口和子氏 公認心理士・臨床心理士・産業カウンセラー)

日 時: 2021年**5月29日**(土)10:00~11:00

開催形態: Zoom(ズーム)ミーティングによるオンライン

※参加方法については、別途、ご案内いたします。(最大100名)

女性委員会
主催

カウンセラー